



# 柳の教訓



学校だより No.02  
 大津市立小野小学校  
 令和6年4月22日  
 児童数 103名

## 柳とカエルの挿絵について

小野小学校区は、小野妹子（おののいもこ）、小野篁（おののたかむら）など、才気あふれる偉人たちのゆかりの地です。たくさんの偉人の中の一人、小野道風（おののとうふう）という、書道の達人がいました。その道風（とうふう）が、まだ書道の達人と呼ばれる前、必死に書道を極めようと努力をしているときのお話です。

ある日、一生懸命に字を書いていた道風は、書きあげたばかりの紙をクシャクシャに丸めると、「これではだめだ！」と壁に向かって投げつけました。道風が壁に投げつけた字は、とても素晴らしい字でした。ですが道風は、その字では満足できません。思うような字が書けない道風は、筆を持つとはせずに、ただぼんやりと庭の方を見つめていました。書くことをあきらめたかのような道風の姿に、友人が声を掛けます。

「気晴らしに、散歩でもしてきたらどうです？」  
 「・・・確かに。では、ちょっと歩いてきます。」

道風はかさを持って、外に出ました。

外は、細かい雨が降っています。

道を下って行くと、いつの間にか池のそばまで来ていました。

その池には柳の木が生えていて、その柳の木の若葉が風にゆられながら池に影をうつしています。

「ああ、この柳の様に、やさしく生き生きとした字が書けたらなあ」

その時、柳の枝の下で、何かが動きました。カエルです。

よく見ると、池のふちには一匹のカエルがいて、じっと枝を見上げています。どうやら柳の葉先にとまっている虫を、狙っているようです。

「あれほど離れていては無理だろう」



負けないぞ！

カエルは柳の小枝目掛けて、ピョンと飛びました。

でも道風の思った通り、カエルは小枝に届かずポチャンと池に落ちてしまいました。

「やっぱり、駄目な事は、駄目なんだ。カエルも、・・・わたしも」

しかしカエルは、何度失敗してもあきらめません。七回目、八回目、九回目・・・、とうとうカエルは、柳の小枝に飛びつきました。そして長い舌で、虫を捕まえたのです。それを見た道風は、教えられた気がしました。

「あきらめては、駄目なんだ！

自分の字を書く事は、とても難しい事だ。だからと言って、あきらめては駄目なんだ。  
いくら時間がかかろうとも、辛抱強くがんばろう。」

こうして道風は再び筆を取ると、あきらめずに字の練習を続けました。

それから何年も努力をして、ついに柳の様に、やさしく生き生きとした自分の字を、美しい字を書けるようになったのです。

誰でも困難な事にぶつかると、あきらめようと考えます。

でも、この道風の様にあきらめずに頑張れば、努力を続ければ、きっと困難な事を打ち破る事が出来るでしょう。

小野っこ達にも、道を極めた道風と同じように、粘り強く、辛抱強く「やさしく、かしこく、たくましく」育ってくれるように、努力を続けてもらいたいとの願いを込めて、学校便りの「柳の教訓」を書いています。

## 学校を去られた先生の紹介

先号で、着任された先生の紹介をしましたが、来られた先生もおられれば、去られた先生もおられます。遅くなりましたが紹介いたします。



<学校を去られた先生の紹介>

中野 正樹校長 退職

園 麻枝先生 瀬田北小

お世話になりました。

西澤 遼平先生は、今年度、育児休暇とって、子育てに専念する休みを取っておられます。子育て、頑張ってください。

## 全国学力・学習状況調査の実施(4/18)

「令和6年度 全国学力・学習状況調査」(学学調査)が4月18日(木)に、6年生を対象に実施されました。6年生のみなさんは、心持ち緊張した様子ではありましたが、国語と算数の課題に一生懸命、取り組んでくれました。

全国一斉に実施される調査の目的は

- ポイント1 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ポイント2 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ポイント3 そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

6年生が頑張って取り組んでくれた結果をもとに、小野小学校でも、よりよい教育活動に取り組めるように、役立てていきます。



学学調査に取り組んでいる様子